

卓球で全国2位に



東条中3年の山田侑季さんが、平成29年10月に愛媛県で開催された全国障害者スポーツ大会の卓球に出場し、第2位に輝いたことを安田市長に報告しました。

体の左半分にまひがあり、幼少の頃からリハビリに励んできた山田さんは、お兄さんの影響で、中学1年から卓球部に入部しました。以降、部活動で実力を伸ばし、県大会などで活躍。平成29年5月の県障害者のじぎくスポーツ大会では、身体障害者部門で優勝し、全国大会への初出場をつかみました。攻撃的なプレーが持ち味の山田さん。「緊張して、力を発揮できないところもありましたが、スマッシュなど、納得できるプレーもありました。今回は銀だったので、メンタルを磨いて、次は金を目指します」と話していました。

ウエイトリフティング 全国大会に出場



河高地区在住で、三木東高校2年生の陰山麻紀帆さんが、第19回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会58kg級に出場したことを安田市長に報告しました。

陰山さんは平成29年1月の近畿大会58kg級において、115kgの記録で4位に入り、全国大会への出場を決めました。全国大会では、131kgの記録で11位となりました。

平成29年12月から予選が始まった全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会への出場を次の目標にした陰山さんは「中学時代の友達に会うと『ゴツくなった』と驚かれるけど、競技は大好きです。これからも続け、全国で上位進出を目指します」と話していました。

三つの誓い 胸に



11月27日、播磨看護専門学校で『看護誓いの儀』が開催されました。

看護誓いの儀は、看護師を目指す学生たちが、初めての病院実習を前に、志を新たにし、責任を果たすことを誓う式典です。学生たちは、ナイチンゲール像から、それぞれの手に持つろうそくへ、灯火を譲り受けたのち、壇上に整列。来賓や保護者が見守るなか「会話を通して思いを引き出す、コミュニケーションの『話』、笑顔で癒しを与え、和やかな空間を作る『和』、人と人との出会いの『輪』。この三つの『WA』を胸に、確かな知識・技術・態度を身につけます」と、全員で誓いの言葉を述べました。

誓いの儀に参加した小林珠季さんは「看護師である母が、自分が病気になったときの看病をしたり、悩んだときの相談相手になってくれたりしたので、自分も、同じように人を安心させられるようになりたいと思い、看護師になろうと決めました。これから勉強を重ねて、立派な看護師になりたいです」と話していました。



身近な話題など、お気軽にご連絡ください。
広報係がカメラを持って伺います。

☎43-0387

第41回西日本少年柔道大会



団体戦
小学3・4年生の部
準優勝
社柔道少年団
小林歩遥
田中陽竜
田中海成
小林嶺坐
村川瑛信
上野健志洋

100歳おめでとうございます



柳 千歳さん(森)

第41回全日本少年サッカー大会兵庫県大会



ベスト8 社フットボールクラブジュニア

第24回播但選抜学童軟式野球選手権



兵庫県決勝大会出場 米田少年野球クラブ

第11回JAみのりカップ少年サッカー大会

3年生の部 優勝
5年生の部 準優勝
イルソーレ加東FC



3年生チーム



5年生チーム

親子で挑戦 デコおせち



12月3日、やしろショッピングパークBioの多目的ホールで、おせち料理をアレンジした『デコおせち』を作る料理教室を開催。20組の親子連れが、干支や縁起物にちなんだ料理に挑戦しました。

作ったのは、犬をかたどったわんわんおむすびやちくわとアスパラガスを使った門松などの計6品。参加した村岡大輔さん(社・3歳)は「上手に切るのが難しかったけど、おいしく作れました」と喜んでいました。

また、このイベントで、リニューアル後の同ホール来場者が1万人を突破し、料理教室に参加した山本香奈さん・ゆなさん親子(家原)に、やしろショッピングパークBio 専門店会から1万円の商品券などの記念品が贈られました。

疏水を学ぶ ボート探検



鴨川ダムを主な水源とする水路網『東条川疏水』をゴムボートで下りながら、その役割や現況について学ぶイベント『東条川疏水ボート探検』が、11月23日、

松沢地区内の国営2号幹線水路と安政池で開催されました。

参加した92人の子どもたちは、甲南女子大学非常勤講師・岸本清明さんから、疏水の成り立ちや役割について解説を受けた後、ゴムボートで水路下りを開始。道中では、ボードに記された疏水のクイズを解きながら、約800mのコースを20分かけて下りました。

参加した三草小学校4年生の高瀬浄太郎くんは「疏水は学校で習っていたけど、実際に見て、クイズもして、役割や大切さがよくわかりました」と話していました。

消防団車両を更新



12月17日、やしろ国際学習塾第3駐車場で、加東市から消防団への車両引き渡し式を開催しました。加東市では、老朽化した消防車両を更新しており、今回は、出水分団・新町分団・小沢分団の車両と、本団指令車の計4台を更新しました。

安田市長から車両が引き渡された後、各分団員は、メーカーから、装備の使い方の説明を受けました。新町分団の小西繁行分団長は「分団員全員が装備を使いこなせるよう、訓練に励みたいです」と話していました。